

ほほえみだより

広報
第86号

家族交流会〜敬老会

九月十八日、天候にも恵まれ、多数のご家族様と一緒に「敬老会」を開催しました。今回は「マグロ解体ショー」を企画し、四十キロの巨大マグロを解体しました。会場からはどよめきと拍手が沸き起こり、普段はあまり食べない新鮮な刺身を食べ、大変喜ばれていました。また、スタッフによる「スコップ三味線」を披露し、見どころいっぱい敬老会となりました。今年も、利用者様とご家族様が触れ合う有意義な時間を提供できたと思います。

副主任介護員 川崎



在宅介護支援センター 「作品展」

彩香園アルテリーベ在宅介護支援センターでは「東北町生き生きまつり」の趣旨に賛同・協力を目的とし今年も健康福祉展への作品展へ参加しました。平成二十八年度も多くの作品制作に取り組んだ認知症予防教室の中から「りんご草木染め手さげバック」「フラワリース」等の展示を行い、特に「こけだま」は好評を得ていました。出展されたご家族様も喜ばれ、今後の活動へ繋げていきたいと思えます。

彩香園アルテリーベ
在宅介護支援センター
渡辺



こけだま



ハートフル交流会

10月20日にデイサービスセンターサンボエムと合同でハートフル交流会を行いました。わかさぎ保育園の園児が来園され、3曲の踊りを披露して下さいました。園児のかわいい踊りを見て、笑顔で手拍子をしたり、握手をした時には「めんこいめんこい」と涙を流して喜ぶ利用者様が多くいらっしゃいました。久しぶりの子ども達とのふれあいに、楽しまれていた様子でした。

介護員 白石



青森県介護サービス事業所認証評価

介護人材育成に力を入れ、優れた介護サービスを提供する事業者を認定する「青森県介護サービス事業所認証評価制度」がスタートし、この度、当法人が最初の認証施設として県内7事業所のうちの1事業所に選ばれました。そして去る10月27日、県庁で認証授与式が行われ野月常務理事が出席し認定証を受取り、優れた事業所という“お墨付き”を頂いてまいりました。今回のこの評価に奢ることなく、介護人材の育成、サービスの質の向上を目指し、利用者様、そして地域の皆様の為に、さらに精進してまいりたいと思います。



東北町生き生き祭り参加

地域貢献活動の一環として町のイベントに参加し地域住民との交流を図ることを目的とし、11月5日東北町で行われた生き生き祭りに参加しました。串もちの販売や甘酒の無料提供、各事業所利用者様の作品展示を行いました。当日は寒い中、たくさんの方々から串もちを購入して頂いたり、作品鑑賞をして頂くことができました。



脚力について

最近、青森県では「短命県返上」を掲げて各企業で様々な取り組みが行われています。東北町でも地域で介護予防の一環として体操などが行われていますが、皆さんは自分の「脚力」がどの位あるのか意識した事はありませんか？
 身体は筋肉の半分以上が脚にあり、立つ・歩くといった動作を支えている、生活には欠かせない脚力ですが、衰えてしまうと当然転倒のリスクが高まり、骨折の危険性があります。
 今一度、自分の脚力を見つめ直し、運動の習慣を身に付けるように心掛けてみて下さい。

機能訓練指導員 木村

編集後記

寒さ厳しく、慌ただしい師走となり。今年もほほえみだよりを通じ、皆様にご利用者様の日頃の様子をお届けできたのではと思います。来年も引き続き利用者様の笑顔掲載できるような、取り組んでいきたいと思っております。来年もよろしくお願いたします。

生活相談員兼介護員 高長根